



オーストラリア直送レポート

Vol.3

2016.8.9 快晴、あらためて感じる暑さ

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
引率教諭：吉備中学校 西岡

●パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
引率教諭：白馬中学校 熊ノ郷

【DS】登校2日目。今日は、昨日の初登校よりは研修生も緊張が和らいだ表情で登校してきました。また、一緒に登校してくるホストファミリーとの関係も、良好のようです。登校してくるなり、研修生同士で今日の放課後はホストファミリーと何をするかなどの情報交換や、お互いのデジカメの画像を見せ合ったりしていました。ただ、気になったのが昨日、研修生に対してこの1週間のスケジュールを伝えていたのですが、メモを取っていなかった研修生から明日以降の質問をされたことです。また、忘れものをし異国の地で気分が高揚しているのは分かるのですが、伝達事項などは聞き洩らしなどがあれば他の研修生にも影響するので注意して欲しい旨を伝えました。

今日は、昨日に引き続き8人一組で2組に分かれての授業への参加です。研修生が、参加している授業の見学するためDS校内を昨日に引き続き歩き回りました。今日は、朝から数学、サイエンス投の授業でしたが、内容が日本の中学校の教育内容より難しい印象を受けました。また、数学の授業で驚いた出来事がありました。それは、オーストラリア国内で実施されている全国统一数学テストの結果を、授業に参加している生徒全体の前で順位と個人名を発表し始めたことです。日本では、考えられない事に驚きを隠せませんでした。ランチタイムの前にあるリセス（20分程度の休憩）やランチタイムには、DS校内の売店に研修生が初挑戦する姿がありました。リセスやランチタイム時は混雑すること、英語での注文が必要なので、登校初日は気になりながら周りから様子をうかがっていましたが、今日は私がハンバーガーが美味しいよと伝えると研修生数人がハンバーガーを購入してきました。また、ランチを食べ終わると校庭に出て行ってDS



校の生徒に研修生から声をかけて、バスケットボールやサッカーと一緒にしたりして、笑顔が溢れていました。たわいのないことの様に思うかもしれませんが、自分自身が興味のあることに、自分で考え行動するようになってきました。昼から体育、柔道、美術の授業に参加しました。その中で、全く知らないDS校の生徒に囲まれ、自分が知らない英単語が飛び交う環境に、まだまだ戸惑う場面も多いですが、初日よりはなんとか自分の気持ちを伝えようとする場面も増えてきており、少しは余裕が出てきたようでした。まだ登校2日目ですが、研修生、DS校の生徒両校の生徒に笑顔が昨日に増して多かった気がします。明日からは、校外研修が始まるので、校外研修を機会を活かしてしっかり研修し、さらに実りある研修にして欲しいです。(林)



今日も研修生は昨日に引き続きホストファミリーとともに元気に登校し、現地の授業を5時間受けました。数学、理科の授業では、まだ日本で学習していない内容でしたが、必死に板書を取るなど、授業に食らいついていく姿が印象的でした。また日本語の授業では、先生役となり現地の学生の学習をサポートしました。他にも、体育、美術、柔道の授業を体験することができました。



今日の1日の中で1番嬉しかったことは、研修生の昼休みの過ごし方が変わったことです。昨日は日本人同士で過ごしていたのですが、今日は外で現地の生徒とサッカーやバスケットをするなど、ドリップストーン校の生徒と交流する研修生がとても多かったです。研修生の確かな成長を感じることができ、大変嬉しく思いました。この調子で明日以降も積極的に行動して、もっともっと成長してほしいと心から思います。吉備中生、Well done! Go for it! (西岡)

(パーマストーン校・ローズベリー校グループについては次ページ)

【PS】 パーマストンシニアカレッジの制服を着て全員元気に登校しました。制服を自然に着こなしていて、現地の生徒達に溶け込んでいました。昨日の体育の授業による筋肉痛を訴える研修生がいましたが研修には問題ないということで今日の活動が始まりました。まず12thグレード（高校3年生）の日本語クラスでは、昨日のアンケートに



ついて、現地の生徒達と英語と日本語をまじえながら協議しました。日本語を勉強している生徒達なのでこちらの言うことをよく聞いてくれて、楽しく一生懸命にコミュニケーションをとっていました。



現地生徒は4人だけのクラスでしたが、練習してきたかぐや姫の劇を披露しました。日本の昔話も勉強しているとあった熱心に鑑賞してくれました。現地の生徒達も日本語のオリジナルストーリーのドラマを作ってくれていて、それを見せてもらいお互いにお互いに拍手を送り合いました。その後は、日本にはなじみのない演劇の授業に参加しました。班別に別れて演じたのですが、恥ずかしいのと、言葉がわからないのとで現地の生徒達には迷惑をかけてしまった感じがありましたが、楽しい雰囲気を作ってください参加させていただきました。

午後は家庭科で、オーストラリアの伝統的なお菓子のアンザックビスケットを作りました。これも現地の生徒達との共同作業でした。焦がしてしまった班や、膨らみすぎてつながってしまった班などもあり、終始和やかな雰囲気でした。

明日はローズベリーミドルスクールに初登校します。パーマストンで作った友人と会えないと寂しがる研修生がいましたが、明日は同じ中学生と新たな交流が生まれることでしょう。（宮地）

今日も元気にみんな登校できました。昨日校長先生からいただいたパーマストンの制服を着ている姿を見ていると、パーマストン高校の生徒と見分けがつかないくらいです。今日のかぐや姫の劇では、壮行会の時よりもさらに上手になっていました。1日中英語を聞いていることが、スピーキングの向上につながっているようです。昨日は、英語での先生の指示に戸惑うことも多かったのですが、今日は、簡単な英語の指示は理解出来るようになりました。



3、4時間目はドラマの授業でした。ドラマの授業は、全く新しいことを英語で理解し、身体で表現しなければなりません。私は、出来るだけ、日本語で説明しないようにしました。自分の持つ知識や能力を最大限に使ってコミュニケーションをしようとすることで、語学の力は伸びると



思うからです。ドラマの授業で努力した子供達は、午後からのクッキングの授業では、パーマストーン校の生徒とグループで活動することにも戸惑うこともなくなっていました。子供達の順応性の高さにはいつも驚かされます。みんな日本でいる時の倍のスピードで成長しているように感じます。(熊ノ郷)